

令和6年2月27日

岐阜県DX推進コンソーシアム 令和5年度第1回総会

1. 総会に付議すべき事項

第1号議案 令和5年度事業報告（案）について

第2号議案 令和5年度収支決算見込（案）について

第3号議案 岐阜県DX推進コンソーシアム設置要綱変更（案）について

第4号議案 令和6年度事業計画（案）について

第5号議案 令和6年度収支予算書（案）について

令和5年度事業報告（案）

（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

令和5年4月1日よりデジタルトランスフォーメーションの推進に資するために、岐阜県 IoT コンソーシアムを改組した「岐阜県 DX 推進コンソーシアム」（以下、「コンソーシアム」という。）は、初年度となる令和5年度に、IoT化の次の段階でもあるデジタル技術等を活用した各種課題の解決や事業の再構築等を実現するためのイベント等を多数実施した。

DXに関する普及啓発及び、産学官連携のもとコンソーシアムに参加する企業・団体等が実施する実証事業等への助成等各種活動を支援することで、県内企業の生産性向上や技術開発、新商品・新サービス創出を推進した。以上の活動により年度当初272の会員数が335に増加した。

（令和6年1月31日時点の会員数 335（一般：234 団体：62 学術：24 行政：15））

《事業概要》

【普及啓発事業】

- | | | |
|---|------------------|-------|
| 1 | 講演会・セミナー、研修会等の開催 | 12回開催 |
| 2 | 先進事例調査 | 4回開催 |
| 3 | 会員間の連携やマッチングの支援 | 2回開催 |
| 4 | 広報事業 | 20回実施 |

【活動支援事業】

- 1 ワーキンググループ活動の支援 13 ワーキンググループ
- 2 ワーキンググループが行う研究事業・実証事業への助成事業 13件 110,533千円補助

※内訳

- ・ワーキンググループ事業費補助金 75,533千円(12WG)
 うち DX推進事業 47,500千円(4WG)
 IoT・デジタル技術活用事業 28,033千円(8WG)
- ・デジタルインボイス活用モデル推進事業デジタルインボイス連携基盤(岐阜モデル)構築・実証事業補助金 35,000千円(1WG)

《事業内容》

【普及啓発事業】

1 講演会・セミナー、研修会等の開催

DXの推進及びDX推進につながるIoT等を活用した生産性向上、新商品・新サービス開発に関するテーマで、講演会・セミナー、研修会、IoT導入・活用事例紹介、研究会等を12回開催し、のべ945名（内コンソーシアム会員454名）が参加した。（予定含）

1	4月25日～ 2月20日 4回開催 <small>（主催）リアル+ オンライン</small>	岐阜県デジタルインボイス研究会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回4/25、第2回6/20、第3回10/31、第1回岐阜県デジタルインボイス対応サービス・カタログ作成WG 12/4,第4回R6 2/20 ・ 委員 岐阜商工会議所 中小企業相談所長 鬼頭 貴士 氏 岐阜県商工会連合会 広域推進課 課長 森 幸雄 氏 岐阜県中小企業団体中央会 専務理事 川本 敏 氏 株式会社インフォファーム DX事業部 執行役員副事業部長 増田 信政 氏 税理士法人長尾会計 代表社員 長尾 博 氏 株式会社十六銀行 DX部 課長 小林 雅樹 氏 株式会社大垣共立銀行 IT統轄部 課長 箕浦 信 氏
---	---	---

第1号議案

		<ul style="list-style-type: none"> ・アドバイザー等 デジタル庁 統括官付参事官付企画官 加藤 博之 氏 経済産業省中部経済産業局 地域経済部 情報政策室 室長補佐 江間 文彦 氏 岐阜県 商工労働部 産業デジタル推進課長 板津 浩司 氏 一般社団法人全国銀行資金決済ネットワーク 企画部長 千葉 勇一 氏 デジタルインボイス推進協議会 / 弥生株式会社 担当マネージャー 岡部 毅 氏 デジタルインボイス連携基盤(岐阜モデル) 構築・実証事業補助金 補助 事業者 株式会社ミライコミュニケーションネットワーク 内部監査部 上野 麻記子 氏
2	<p>5月19日 (主催) オンライン 【サテライト会場】 ソフトピアジャパン 1F セミナーホール</p>	<p>令和5年度 講演会 103社 114名参加 (内会員 73社 78名)</p> <p>◇「DXが創る、新商品・新サービス市場 ～『BtoC』進出に成功した中小企業事例をもとに～」 講師：中山 亮太郎 氏 (株)マクアケ 代表取締役社長</p> <p>◇DX事例紹介および意見交換会 「デジタルで社会課題を解決する企業・事業を再構築する企業」 登壇者 ニッケン刃物(株) 代表取締役社長 熊田 祐士 氏 「日本刀型ペーパーナイフの開発にあたり、新規需要開拓でマクアケを活用された事例等を紹介」 浅野 燃糸(株) 専務取締役 浅野 宏介 氏 「福島県双葉町に新工場を建築し、世界に高機能高級タオル「エアーかおる」を販売する浅野燃糸のデジタルでの取り組みを紹介」 恵那醸造(株) 代表取締役 長瀬 裕彦 氏 「小さな企業でも安価なセンターを利用してIoT機器を自社開発して様々な課題に取り組んだ経験を紹介」 コメンテーター：(株)マクアケ 代表取締役社長中山 亮太郎 氏</p>
3	<p>5月24日～ 9月26日 5回開催 (主催) リアル+オンライン</p>	<p>DX事例研究会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岐阜県DX推進コンソーシアムの前身である岐阜県IoTコンソーシアムで5年間にわたり取り組んできたワーキンググループ事業費補助金を交付した企業や会員企業等の取組みの中から、DXの成功事例等を抽出しその成功要因等を分析、横展開を図ることで、県内企業のDX推進に寄与することを目的に実施。9月26日に成果を発表。 ・第1回5/24、第2回6/28、第3回7/26、第4回8/30、第5回9/26開催 ・委員 横浜国立大学大学院国際社会科学府・研究院 准教授 横澤公道 氏 岐阜協立大学経営学部講師 市川大祐 氏 SJ情場クラブ 会長 鳥居保徳 (セイノー情報サービス 顧問) 氏 岐阜県DX推進コンソーシアム センター長 尾崎浩之 氏 合同会社アイティ・マネジメント研究所 代表社員 高木徹 (DX人材養成研修受託事業者) 氏

第1号議案

4	<p>8月2日 (共催) オンライン (岐阜大学人工 知能研究推進セ ンター、岐阜県 産業技術総合セ ンター等) 【オンライン会場】 SJ11F 研修室1</p>	<p>生成AIセミナー 149社248名参加 (内会員53社132名参加) 「生成AI (ChatGPT)時代に備える ～目前に迫る劇的なDX化と人間の価値～」 講師：岐阜大学 人工知能研究推進センター センター長 加藤 邦人 教授</p>
5	<p>8月8日 (共催) (岐阜県図書館) 【会場】 県図書館2F 研修 室1,2</p>	<p>生成AIワークショップ 21社22名参加 (会員限定) 8月2日のセミナーでデモされた内容 (ChatGPT4.0を使用した実際の 操作等)を体験し、自らの仕事での活用を考えて頂く機会とした。 ・Webpilot を利用した企業マッチング体験 ・プログラム自動生成体験 ・プログラム自動修正体験 ・プログラム変換 (C言語→JAVA 等) ・プラグイン体験 (食べログ・Link Reader 等) ・文書自動変換・作成体験 ・製造工程におけるパラメーターの整合性確認体験 ・アンケート自動作成体験 他</p>
6	<p>9月12日 (主催) オンライン</p>	<p>岐阜県デジタルインボイス研究会 オンラインセミナー 「岐阜モデルが目指すもの」 51社76名参加 (内会員16社28名参加) ・岐阜県デジタルインボイス研究会の活動状況 岐阜県DX推進コンソーシアム事務局による説明 ・デジタルインボイス先進導入国の状況について (榊野村総合研究所 未来創発センター フェロー 制度戦略研究室長 梅屋 真一郎 氏 ・『岐阜モデル』が目指すもの</p>
7	<p>9月26日 (主催) リアル+オ ンライン 【会場】 ソフトピアジャパン 10F 中会議室1</p>	<p>[再掲] DX事例研究会「デジタル化推進アンケート結果報告会」 「DXに向けた県内企業の取り組みと成功要因 ～アンケートとレビューから見えてきた重要な示唆～」 61社73名参加 (内会員50社59名) ・DX事例研究会の報告 講師：横浜国立大学大学院 国際社会科学府研究院 准教授 横澤 公道 氏 ・パネルディスカッション 「DXに向けた県内企業の取り組みと成功要因 ～アンケートとレビューから見えてきた重要な示唆～」 コーディネーター 横浜国立大学大学院 国際社会科学府研究院 准教授 横澤 公道 氏 パネリスト 株式会社イマオコーポレーション 情報ビジネス部 課長 山岡 利幸 氏 中部事務機株式会社 広報ブランディング室 室長 佐藤 理佳子 氏 株式会社エヌテック イノベーション推進部 DX課 課長 三宅 英治 氏 DX事例研究会委員 鳥居 保徳 氏 (セイノー情報サービス顧問) DX事例研究会委員 高木 徹 氏</p>

第1号議案

8	<p>10月12日 (県と共同主催) オンライン有</p> <p>【会場】 テクノプラザ会場 (テクノプラザ本館 4F プラザホール)</p> <p>サテライト ソフトピアジャパン会場 (ソフトピアジャパ ンワークショップ 24 コラボ・ソビ ア)</p>	<p>ものづくり×DXフェス 「ものづくり企業の勝ち抜くDXが、ここにある」 リアル109名、オンライン75名、サテライト5名参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1部 ものづくり女子によるDX事例紹介 「決意の社長就任、デジタル活用で救った創業74年の老舗企業」 株式会社田中工業所 代表取締役社長 田中 佑子 氏 「全社員取り組んだIoT推進、自動化と職人技の融合による最高品質の刃物製造」 株式会社大野ナイフ製作所 常務取締役 大野 絢子 氏 「社内にデジタルの火を!!ファクトリーサイエンティスト育成で目指すDXのその先」 ヤマザキマザック株式会社 大野製作所 生産技術課 機械・組立技術チーム 安部 実乃梨 氏 ・第2部 ものづくり系 YouTuber ものづくり太郎 氏 熱血講演 ・第3部 トップランナーVS. トップランナー 特別対談 YouTuber ものづくり太郎 氏 株式会社テクノア 代表取締役 山崎 耕治 氏 アクセンチュア株式会社 シニアマネージャー 鈴木 鉄平 氏 ・DXミニ EXPO (ものづくり企業のDXをサポートするソリューションの展示) ダイドー株式会社、株式会社立花エレクトック、 株式会社テクノア、株式会社樋口製作所、 岐阜県DX推進コンソーシアム
9	<p>11月14日～ 2月15日 7回開催 (主催) 【会場】岐阜県 図書館</p>	<p>DX人材養成研修 10社16名参加 研修内容等 講師：合同会計 アイティ・マネジメント研究所 代表社員 高木 徹 氏</p> <p>第1回「DX人材育成のコアとなる研修の目的と現状把握」 11/14(火)13:00-16:30 岐阜県図書館 特別会議室</p> <p>第2回「手練手管でチャレンジする」 11/28(火)13:00-16:30 岐阜県図書館 研修室1</p> <p>第3回「巻き込みを実践した結果の真因分析と対策」 12/21(木)13:00-16:30 岐阜県図書館 特別会議室</p> <p>第4回「戦略立案と実践」 12/26(火)13:00-16:30 岐阜県図書館 特別会議室</p> <p>第5回「外部の協力を得る」 (R6)1/19(金)13:00-16:30 岐阜県図書館 特別会議室</p> <p>第6回「今後に向けて新たな戦略を練り直す」 (R6)2/2(金)13:00-16:30 岐阜県図書館 特別会議室</p> <p>第7回 成果報告会 (R6)2/15(木)13:00-16:30 岐阜県図書館 特別会議室</p>
10	<p>12月20日 21日 (共催) WS (主催：岐阜県産業 技術総合センター) (共催：国立大学法 人東海国立大学機</p>	<p>データサイエンス講習会 14社18名参加 (内会員9社12名) 講師：国立大学法人東海国立大学機構 航空宇宙生産技術開発センター 鈴木 優 准教授、原 武史 教授 他</p> <p>◇1日目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機械学習の紹介(講義) ・解析ツールの使い方とPython入門(演習) ・データ解析のための基本操作(演習)

第1号議案

	構 航空宇宙生産技術開発センター等) 【会場】 ハートフルスクエアG 研修室 50	◇ 2 日目 ・機械学習演習(講義と演習) ・前処理(演習) ・機械学習実践(演習) ・ローコードプログラミングの紹介 ・質疑応答
11	1月29日 (共催) オンライン (岐阜大学人工知能研究推進センター、岐阜県産業技術総合センター等) 【サテライト会場】 岐阜県産業技術総合センター	「Deep Learning 講習会」 30社40名参加(内会員15社 21名) 講師 岐阜大学人工知能研究推進センター長 加藤 邦人 教授 早稲田大学 研究員教授・岐阜大学 特任教授 速水 悟 教授 ・Deep Learning の基礎 ・大規模言語モデルの原理と応用 ・生成AIの概要とChatGPT等の活用 ・外観検等への活用と最新動向
12	【予定】 3月5日 (共催) 【会場】 ソフトピアジャパンセンタービル 10F 大会議室	ソフトピアジャパンDX講演会 ○記念講演会 テーマ「女性経営者の視点から描くものづくりの未来」 講師 富士電子工業株式会社 代表取締役社長 渡邊 弘子(わたなべ ひろこ) 氏

2 先進事例調査

DXの推進に取り組む県内外の先進的な企業や施設等4カ所を見学した。

1	7月27日 (主催)	第1回 9社9名参加(内会員8社8名) 「製造業におけるデジタルツイン活用事例紹介 ～デジタルツインで工場課題を解決～」 見学先：株式会社イマオコーポレーション(美濃市)
2	8月22日 (共催) ぎふIT・ものづくり協議会	第2回 10社17名参加(内会員9社13名) 「富士フイルムビジネスイノベーションにおけるモノづくりDXの取り組みと鈴鹿事業所での言行一致事例見学」 見学先：富士フイルムマニュファクチャリング株式会社(三重県鈴鹿市)
3	10月17日 (主催)	第3回 10社14名参加(会員限定) 「アナデジカイゼンを新商品の開発につなげた企業を見学する!!」 見学先：ミズタニバルブ工業株式会社(山県市)
4	12月1日 (共催) ぎふIT・ものづくり協議会	第4回 8社11名参加(会員限定) 「リコーの中国東莞の最新鋭工場をオンライン見学 オフィスでのカーボンニュートラル取り組み視察」 見学先：リコー広東省東莞工場 (リコー株式会社岐阜支店(岐阜市)でオンライン視察)

3 会員間の連携やマッチングの支援

58の会員が参加し13のワーキンググループが発表する成果報告会を開催し、会員間の交流を促進した。

- ・ワーキンググループ事業費補助金 12WG
- ・デジタルインボイス連携基盤(岐阜モデル)構築・実証事業補助金 1WG

第1号議案

1	<p>【予定】 3月14日 (主催) 【会場】 大垣市情報工房 5F スイクホール セミナー室</p>	<p>岐阜県DX推進コンソーシアム第1回総会 会員総数(令和6年1月31日現在) 335</p>
2	<p>【予定】 3月14日 (主催) 【会場】 大垣市情報工房 5F スイクホール セミナー室</p>	<p>ワーキンググループ事業費補助事業「成果報告会」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 岐阜県DX推進コンソーシアムワーキンググループ活動補助金採択事業 13のWGのプレゼンテーションを実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ワーキンググループ事業費補助金 12WG <ul style="list-style-type: none"> うち DX推進事業 4WG I o T・デジタル技術活用事業 8WG ・デジタルインボイス連携基盤(岐阜モデル)構築・実証事業補助金 1WG ○ 成果展示(補助金採択13のWG)

4 広報事業

毎月1回の定例メールマガジンを配信するとともに、ダイナミックに臨時便として随時メールマガジンを配信し、積極的に活動の広報を実施した。

<p>令和5年4月 から 令和6年3月</p>	<p>メールマガジンの配信</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 毎月1回(原則第2営業日) + 臨時号 合計18回配信予定
<p>令和5年11月 から 令和6年2月</p>	<p>会員企業のDXに対する取り組み状況を把握するためのアンケート調査 (有効回答数157)</p>
<p>2月22日</p>	<p>ミニソフトピアメッセに出展</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 会場 ソフトピアジャパン センタービル 3階ソピアホール

【活動支援事業】

1 ワーキンググループ活動の支援

必要に応じて 打合せ会議を開催し、事業進捗を支援した。

2 ワーキンググループが行う研究事業・実証事業への助成事業

13のワーキンググループ(58会員)の活動に対して対象経費の助成を行う予定。

※内訳

- ・ワーキンググループ事業費補助金 75,533千円(12WG:55会員)
 - うち DX推進事業 47,500千円(4WG:22会員)
 - I o T・デジタル技術活用事業 28,033千円(8WG:33会員)
- ・デジタルインボイス連携基盤(岐阜モデル)構築・実証事業補助金 35,000千円
 (1WG:3会員)

第1号議案

※補助率

○ワーキンググループ事業費補助金

・DX推進事業

《活動費・外注費》

補助対象経費の2分の1以内、

補助限度額：上限 10,000 千円

《調査連携費》 大学等研究機関に依頼する調査等の経費

補助対象経費の10分の10以内、

補助限度額：上限 2,500 千円

・IoT・デジタル技術活用事業

補助対象経費の2分の1以内、

補助限度額：上限 5,000 千円

○デジタルインボイス連携基盤（岐阜モデル）構築・実証事業補助金

補助対象経費の10分の10以内、

補助限度額：上限 35,000 千円

《助成した13のワーキンググループと事業課題》

○ワーキンググループ事業費補助金

1-4 DX推進事業

5-12 IoT・デジタル技術活用事業

1	事業課題	RFIDを活用したLPガス容器管理のDX推進と災害時ドローンによる探索・識別 ～業界の生産性・利益率向上、労働環境改善、災害時の流出や復旧への早期対応など社会課題の解決に向けて～
	ワーキンググループ名	LPガス容器管理のDX化を推進するWG
	ワーキンググループ構成員	幹事企業：(有)笠原商事 メンバー企業：山口プロパンガス商会、岐阜女子大学、一般社団法人全国高圧ガス容器検査協会、美濃商工会議所、特定非営利活動法人ITC中部
2	事業課題	ロボットSier DX化をめざした工程管理プラットフォームの構築
	ワーキンググループ名	ロボットSier 業界で先進技術を活用してDX推進を図るWG
	ワーキンググループ構成員	幹事企業：(株)エヌテック メンバー企業：スターテクノ(株)、日晃オートメ(株)、(株)田口鉄工所
3	事業課題	職場の働き方改革を大規模マルチモーダルAIで研究開発～カメレオンコードで特定した人物の生産活動を大規模マルチモーダルAIに取り込み最適な指示を提案～
	ワーキンググループ名	大規模マルチモーダルAIによる働き方改革の研究開発WG

第1号議案

	ワーキンググループ構成員	幹事企業：(株)インフォファーム メンバー企業：岐阜大学、(株)ビーアイエムシー、 矢橋ホールディングス(株)、(株)LIXIL、 サラヤ(株)、岡野バルブ製造(株)、京セラ(株)
4	事業課題	物流2024年問題に対する荷待ちゼロサービス 「イマツム」評価分析
	ワーキンググループ名	物流DXワーキンググループ
	ワーキンググループ構成員	幹事企業：(株)ZENSHIN メンバー企業：(株)グイ・アール・テクノセンター、 朝日大学、一般社団法人岐阜県トラック協会
5	事業課題	花木センター組合員のためのマーケットプレイス構築による調達・販売の最適化
	ワーキンググループ名	花木センター組合員のためのマーケットプレイス構築WG
	ワーキンググループ構成員	幹事企業：協同組合日本ライン花木センター メンバー企業：(株)アグリル、アップルウェア(株)、 (有)フローリストカモノ花園、(株)錦園芸、 アース製薬(株) 中日本支店
6	事業課題	鋳造工程のデータ活用と鋳造設備の予知保全
	ワーキンググループ名	鋳造工程のデータ活用と鋳造設備の予知保全研究会
	ワーキンググループ構成員	幹事企業：(株)岡本 メンバー企業：(株)ナベヤ、(株)OSデベロップメント、 岐阜工業高等専門学校
7	事業課題	食品製造販売業界向けAI需要予測の導入と実証検証
	ワーキンググループ名	食品製造販売業界向けAI需要予測普及チーム
	ワーキンググループ構成員	幹事企業：(株)デリカサイト メンバー企業：(株)榎谷、(株)ミライコミュニケーションネットワーク、 (株)鳥骨鶏本舗
8	事業課題	担い手不足(老舗)に資するIT活用による働き方改革への基盤作り
	ワーキンググループ名	担い手不足(老舗)に資するIT活用による働き方改革への基盤作り
	ワーキンググループ構成員	幹事企業：(株)芋慶 メンバー企業：玉泉堂酒造(株)、岐阜県食品科学研究所

第1号議案

9	事業課題	ヘルスケア商品のスマート物流システムの構築 ～RF-ID、画像認識AIを活用した在庫管理の仕組みと発注作業の効率化・省力化～
	ワーキンググループ名	BRAISによるスマート物流の実現WG
	ワーキンググループ構成員	幹事企業: (株)セイノー情報サービス メンバー企業: (株)セイノー商事、ケアテック(株)、 社会福祉法人うぐいす会特別養護老人ホーム菅田園
10	事業課題	企業間での物流・在庫データの共有・連携による生産性向上・競争力強化 ～プラットフォームの活用による、サプライチェーン全体での業務改善、DX推進の取り組みを通じて～
	ワーキンググループ名	染色業界におけるDX推進による企業間情報共有WG
	ワーキンググループ構成員	幹事企業: コーテック(株) メンバー企業: 濃飛倉庫運輸(株)、(株)カツクラ、 岐阜県染色工業協同組合
11	事業課題	部品管理の精度向上及び対話型AIを活用した発注業務の効率化への挑戦
	ワーキンググループ名	DX推進による業務改善及びAIの実用性検証WG
	ワーキンググループ構成員	幹事企業: (株)大野ナイフ製作所 メンバー企業: (株)ユニフェイス、(株)オフィスむしか
12	事業課題	IoTによる機械設備の稼働情報収集、見える化
	ワーキンググループ名	IoTによる機械設備の稼働情報収集、見える化WG
	ワーキンググループ構成員	幹事企業: (株)坂井製作所 メンバー企業: 野村精機(株)、鈴木刃物工業(株)、 特定非営利活動法人ITC中部、東海サーモ(株)

※年度当初は13のWGを採択したが1WGの中止届が提出された。

○デジタルインボイス活用モデル推進事業デジタルインボイス連携基盤(岐阜モデル)構築・実証事業補助金

1	事業課題	データ連携基盤を構築・実証検証を行い、これを用いた受発注業務の改善に関する好事例を創出し、県内のDX促進に貢献する
	ワーキンググループ名	岐阜県デジタルインボイスデータ活用推進WG
	ワーキンググループ構成員	幹事企業: (株)ミライコミュニケーションネットワーク メンバー企業: (株)デリカサイト、(株)大垣共立銀行

第2号議案

令和5年度収支決算見込(案)

収入の部

単位：円

科 目	当初予算額	決算額(見込)	備 考
会費収入	2,200,000	2,350,000	年会費：10,000円×235社
負担金	126,500,000	126,500,000	ソフトピアジャパン事業費補助金、デジタルインボイス活用モデル推進事業、ワーキンググループ助成事業
雑収入	0	52	預金利息
合計	128,700,000	128,850,052	

支出の部

科 目	当初予算額	決算額(見込)	備 考
運営事業費	128,700,000	128,850,052	
普及啓発事業	8,700,000	7,950,375	講演会・セミナー、研修会、研究会、交流会、会員間の連携事業、広報事業等
活動支援事業	120,000,000	110,533,000	ワーキンググループ事業費補助金 デジタルインボイス活用モデル推進事業
余剰(返還)額	0	10,366,677	(公財) ソフトピアジャパンへ返還
合計	128,700,000	128,850,052	

余剰(返還)額の主な内訳	科目	見込み金額	適用
	活動支援事業	9,467,000	補助金中止1件(5,000,000) 減額1件(1,896,000) 執行残(2,571,000)
	普及啓発事業等	899,677	賃借料、交通費、諸謝金等の執行残

岐阜県DX推進コンソーシアム設置要綱変更（案）について

1. 変更点

- 経費についての変更（第19条関係）
ワーキンググループが行う研究事業・実証実験の助成（第4条4号）、コンソーシアム等の活動成果等の展開（同6号）に、「ワーキンググループ活動の支援（同3号）」を加える。

2. 変更理由

- 会員からの要望に応えるため、会員間のワーキンググループ（学習会、研究会等）活動の費用に、県からの拠出金を充て、支援を強化するもの。

「7ワーキンググループ」×@10万円を想定

3. 新旧対象表

新	旧
<p>（経費） 第19条 コンソーシアムの運営及び事業（第4条第3号、第4号、及び第6号に定める事業を除く。）に必要な経費は、第一に年会費をもって充て、不足分を公益財団法人ソフトピアジャパンの拠出金、次いでその他の収入をもって充てるものとする。</p> <p>2 コンソーシアムの運営及び事業（第4条第3号、第4号、及び第6号に定める事業）に必要な経費は、公益財団法人ソフトピアジャパンの拠出金をもって充てるものとする。</p> <p>附 則 4 この要綱は、令和6年4月1日から施行する。</p>	<p>（経費） 第19条 コンソーシアムの運営及び事業（第4条第4号及び第6号に定める事業を除く。）に必要な経費は、第一に年会費をもって充て、不足分を公益財団法人ソフトピアジャパンの拠出金、次いでその他の収入をもって充てるものとする。</p> <p>2 コンソーシアムの運営及び事業（第4条第4号及び第6号に定める事業）に必要な経費は、公益財団法人ソフトピアジャパンの拠出金をもって充てるものとする。</p> <p>附 則</p>

以上

令和6年度事業計画（案）

【普及啓発事業】

- 1 講演会・セミナー、研修会等の開催
DXを推進し、生産性向上や技術開発、新商品・新サービス創出の実現をテーマに講演会・セミナー、研修会等を年2回程度開催する。
- 2 先進事例調査
IoT、AI、ロボット、データ分析等によりDXの実現に取り組むユニークな企業または先進的な企業や施設等の見学を年3回程度実施する。
- 3 会員間の連携やマッチングの支援
 - ・ワーキンググループ事業費補助金及びデジタルインボイス活用モデル事業の成果報告会を実施し、DX実現に向けた実証事業の事例発表や意見交換会を実施する。
 - ・会員企業間、大学や学術機関との連携を活発化させるための各種相談に随時対応する。
- 4 広報事業他
 - ・メールマガジンを配信しDX推進コンソーシアムの取り組みを会員に提供し、会員相互の情報共有を図る。
 - ・他団体と連携しDXの推進と実現に向けた普及啓発を図る。
 - ・会員企業のDXに対する取り組み状況を把握するため、アンケート調査を行う。
 - ・会員からの要望に従い、個別の相談に対応しデジタル化等による課題解決を支援する。

【活動支援事業】

- 1 ワーキンググループが行う研究事業・実証事業への助成事業
 - ◆ワーキンググループ事業費補助金
DXの推進・生産性向上等を実現するため、コンソーシアム会員による複数企業等で構成されるワーキンググループの活動に対して導入・実証、研究、開発経費等に対して助成する。
※補助限度額・補助率
 - ・DX推進事業（補助対象経費の1/2以内 上限10,000千円、WG内の大学へは別途 補助率10/10 上限2,500千円）
 - ・IoT・デジタル活用事業（補助対象経費の1/2以内 上限5,000千円）
- 2 【新規】デジタルインボイス活用促進事業
 - ・令和5年度は、デジタルインボイスの理解促進と活用方法の研究を行うため、当コンソーシアム内に「岐阜県デジタルインボイス研究会」を設置し、県内中小企業のバックオフィスの現状把握、国（デジタル庁）などの取組紹介、モデル事業（デジタルインボイス連携基盤の構築）の進捗管理等を行った。
 - ・令和6年秋頃には、「連携基盤」のサービスが始まる予定となっていることから、同会を「デジタルインボイス活用推進促進協議会」に改め、デジタルインボイスの啓発促進、デジタルインボイス連携基盤、DI-ZEDIの活用促進等を行う。
- 3 【新規】ワーキンググループの活動支援
 - ・生成AIやローコード等新しい動きに取り組む会員企業で構成されるワーキンググループが実施する勉強会・研修会・展示会出展等広報活動等の費用の一部を助成する（最大10万円/回）することでワーキンググループの活動を活性化させ、次年度以降の「ワーキンググループ事業費補助金」への申請につなげる。

令和6年度収支予算書(案)

収入の部

単位：千円

科 目	本年度予算額	前年度予算額	備 考
会費収入	2,350	2,200	年会費：10,000円×235社
負担金	118,700	126,500	ソフトピアジャパン事業費補助金、デジタルインボイス活用促進事業
合計	121,050	128,700	

支出の部

科 目	本年度予算額	前年度予算額	備 考
運営事業費	121,050	128,700	
普及啓発事業	8,250	8,700	講演会・セミナー、研修会、交流会、会員間の連携事業、広報事業等
活動支援事業	112,800	120,000	ワーキンググループ助成事業、デジタルインボイス活用促進事業等
合計	121,050	128,700	